

尊重について

富岡市立南中学校

三年 高瀬 里香

皆さんは、好きなことや好きなもの、「推し」というような存在はいますか。私は子供向け教育番組を推しています。毎日見たり、コンサートにも何度か行きました。これを聞いて、皆さんはどう思いましたか。「中学生なのに」と驚いた人もいれば、おかしく思う人、特に何も思わなかった人、様々だと思います。皆さんは、自分の好きなものや考え方が世間一般的な普通と違って、それを友達や家族などに言うことができていますか。きっとなかなか言えない人もいると思います。私自身も「これ好きだな」と思い始めた頃は家族にすら言うのをためらっていました。それでもこうして堂々と言えるようになったのは、私の周りの人たちが尊重してくれたからです。そんな「尊重」について

の体験を二つ紹介します。

一つ目は、思い切って家族や友達に、先ほどの自分の好きなものを話してみた時のことです。みんなは「いいんじゃない」や「今度見てみようかな」と言ってくれました。否定するどころか受け入れてくれたことがとても嬉しかったのを覚えています。しかし、馬鹿にされるような反応をされたこともありました。それでも肯定してくれる人のほうが多かったり、先生方も否定せずに話を聞いてくれたりと、学校のほとんどの人が受け入れてくれたので、番組が好きな気持ちに自信を持つことができました。

次に、SNSを始めたことです。SNSは世界中の人がやっているのですが、同年代くらいの人や社会人など色んな人が私と同じものが好きなんだということを知り、少し安心しました。また、世界単位の広いところを見ると、世の中には、なかなか出会わないだけで色々な考え方や生き方をしている人がいることに改めて気づき、私のような人間がいるのも当たり前なんだと感じました。

しかし、世の中には周りとは違うことが良くないと思
ってしまう人が多いのではないかと思います。皆さん
も周りとなにかが違うなと感じたときに、「皆はこうな
のに」と不安を感じてしまうことはありませんか。私
も番組にハマりたての頃、周りには同じものに興味を
持っている人がいないというのもあり、「自分は変なの
ではないか」と考えてしまうことがありました。また、
私の場合は尊重してくれる人の方が多く特に大きな被
害はありませんでしたが、人間の本能として周りとは違
う人を悪だと感じ、攻撃してしまうケースがあります。
そのため、「これを言ったら仲間はずれにされるのでは」
という防衛反応が働き、なかなか言い出せないことが
多いのではないかと思います。

最後に、自分ばかり受け入れてもらうだけではなく、
周りの人の好きなものや考えを受け入れることも大切
だと思います。実際に、私も友達から「これが好きな
んだよね」と紹介してもらった時には、「いいね」や「そ
れ知ってる、面白いよね」などのなるべく肯定的な反
応をすることを意識し、それを知らなければ調べてみ

るなどして少しでも興味を持つようにしています。ま
た、友達が話しやすい雰囲気にすることで思ったまま
のことを言えたり、自分も友達の好きなものについて
知ること、友達との共通の話題が増え、更に仲良く
なれました。

このように、お互いに好きなものを尊重しあうこと
は、仲を深めるきっかけにもなりますし、自分の世界
が広がります。また、皆で一人一人の意見や好きなも
のを大切にできれば、相手に対する信頼と安心感が生
まれ、発言しやすい雰囲気になると思います。互いに
尊重しあうために、皆と違っても否定から入るのでは
なく、興味を持ってみたり、まずは話を聞いたりして
みませんか。